

田中鮎夢を指導教員として希望する大学院志願者への連絡

私が専門とする国際経済学・文化経済学・自然災害の経済学など応用ミクロ経済学の実証研究には、英語文献を読み込み、データを加工・分析する能力が求められます。ミクロ経済学の知識に加えて、計量経済学の知識と Stata もしくは R のプログラミング技術が必要です。また、論文の執筆には LaTeX の知識が必要となります。

そのため、田中鮎夢を指導教員として希望する方は、大学院志願時において、以下の点に留意してください。

1. 原則として、ERE で A 以上の成績を取得して下さい。
2. 利用許諾が不要かつ無料で入手可能なデータをもとにして、研究計画の立案を行なって下さい。
3. 研究計画において参照する先行研究は、Google Scholar で検索し、最近 5 年以内の英文ジャーナル (*Journal of International Economics* など IDEAS/RePEc Aggregate Rankings for Journals において上位 100 位以内のジャーナル) もしくは NBER Working Paper に掲載された英語論文として下さい。
4. 修士課程の段階では、外国での実証研究を日本のデータに適用するタイプの研究で十分です。
5. 研究デザインにおいて、DiD や合成コントロール法、IV、RDD など因果推論手法を用いて下さい。
6. 入試面接時に、田中鮎夢を指導教員として希望する旨を明確に伝えて下さい。
7. 計量経済学の知識と Stata もしくは R のプログラミング技術がなければ、基礎的なことだけでも勉強して、入試面接時にどの程度の技量があるのか教えて下さい。
8. 公平性の観点から入試前の連絡・相談には応じられません。

田中鮎夢